

2024年12月5日

報道関係者各位

株式会社オプティム  
(東証プライム市場、コード:3694)

## 「Optimal Biz」が ver.9.22.0 にアップデート macOS 15、iOS/iPadOS 18、Android 15 への対応および、 オプティムが提供する ID 管理基盤「OPTiM ID」でのシングルサインオンに対応

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム(以下 オプティム)は、MDM<sup>※1</sup>・PC 管理サービス「Optimal Biz」が、ver.9.22.0 へのアップデートを行ったことをお知らせします。

今回のアップデートで、macOS 15、iOS/iPadOS 18、Android 15 に対応しました。

また、オプティムが提供する ID 管理基盤「OPTiM ID」に対応し、「OPTiM ID」で管理しているユーザー ID で「Optimal Biz」管理コンソールにログインできるようになりました。この対応によって、資産管理サービス「OPTiM Asset」、契約書管理サービス「OPTiM Contract」などの「OPTiM ID」を使用する他のサービスと同じユーザー ID でログインができるようになるため、管理者が端末管理を行う際の利便性が向上します。

### ■「Optimal Biz」 ver.9.22.0 アップデート内容

「Optimal Biz」 ver.9.22.0 から、以下の内容がご利用いただけるようになります。

- **macOS 15 対応<sup>※2</sup>**  
macOS の最新 OS である macOS 15 に対応しました。
- **iOS/iPadOS 18 対応<sup>※2</sup>**  
iPhone や iPad の最新 OS である iOS/iPadOS 18 に対応し、「作文ツール」などの iOS/iPadOS 18 から利用可能な各種機能について、端末管理者が利用可否を制限できる設定を追加しました。
- **Android 15 対応**  
Android の最新 OS である Android 15 に対応しました。
- **「OPTiM ID」によるシングルサインオンに対応**  
「OPTiM ID」でユーザー ID が発行されている場合に、「Optimal Biz」管理コンソールに「OPTiM ID」を利用してログインすることができるようになります。

その他、既存機能の拡充、不具合改修等を行いました。

### ■「Optimal Biz」とは

「Optimal Biz」は、企業で使用されているスマートフォンやタブレット端末の管理、セキュリティ対策などを Web ブラウザー上から簡単に一括で行える、14 年連続国内シェア No.1<sup>※3</sup> の MDM・PC 管理サービスです。Zone Management や機器検出技術といった特許技術を組み込んだ機能や、端末メーカーとの提携による業界最多の対応機種数、大規模ユーザーを抱える組織の構造を視覚化した階層管理機能、直感的なユーザーインターフェースによる管理画面なども強みとしています。

詳細は以下の Web サイトをご確認ください。

<https://www.optimalbiz.jp/>

## ■「OPTiM ID」とは

「OPTiM ID」とは、オプティムが提供するサービスの共通クラウド認証基盤です。

## ◆「OPTiM ID」でログインできるオプティムのサービスの一例

- 「OPTiM Asset」  
企業が所有するハードウェア(固定資産・備品)管理を効率化する、物品管理クラウドサービスです。
- 「OPTiM サスマネ」  
SaaS・オンプレミス・IT デバイスを統合管理することで、情報システム部門の負担軽減や効率的なコストカットを実現する SaaS 管理サービスです。
- 「OPTiM Contract」  
電子帳簿保存法の電子取引の電子保存要件に対応し、月額 9,980 円(税抜)から利用できる AI を活用した契約書管理サービスです。
- 「OPTiM 電子帳簿保存」  
電子帳簿保存法の電子取引の電子保存要件に対応し、月額 9,980 円(税抜)から利用できる AI を活用した帳票管理サービスです。

※1 MDM: Mobile Device Management(モバイルデバイス管理)の略。スマートフォン、タブレット端末の管理、セキュリティをサポートし、端末紛失・盗難時の情報漏えい対策、リモートロック、不正利用アプリケーションの起動禁止などを行う企業向けサービス。

※2 macOS 15、iOS/iPadOS 18、は 2024 年 9 月 17 日に検証済としてサポートを開始していましたが、ver.9.22.0 では最新の仕様に最適化を行いました。

※3 出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所

「クラウドサービス市場の現状と展望 2013 年度版」IT 資産管理(MDM 含む)市場「合計売上高」2011 年度～2012 年度実績(2013 年発刊)、

「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望 2014 年度版」MDM 市場動向「MDM 出荷 ID 数(SaaS・ASP 含む)」2013 年度実績(2014 年発刊)、

「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望」MDM 市場動向「MDM 出荷 ID 数(SaaS・ASP 含む)」2014 年度～2017 年度実績(2015～2018 年発刊)、

「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望」MDM 市場「MDM 出荷 ID 数(SaaS・ASP 含む)」2018 年度～2023 年度実績および 2024 年度見込(2019 年～2024 年発刊)より。

## 【オプティムの目指す、オプティマル事業とは】

～Optimal【形】最適な、最善の、最も有利な～

急速なインターネット普及に伴い、これまでネットを利用したことのないユーザーがネットを利用する機会が増えており、このユーザー層にとって現状のネットは必ずしも使いやすいものではありません。このような状況にあって、ネットを空気のように快適で、息をするように無意識に使えるサービス・インフラに変えていく。オプティマル事業とは、そのためのオプティム独自の最適化技術によるサービス事業の総称です。

製品情報: <https://www.optim.co.jp/services>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/optimjpn>

X ページ: [https://x.com/optim\\_jpn](https://x.com/optim_jpn)

## 【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム  
上場市場: 東京証券取引所プライム市場  
証券コード: 3694  
URL: <https://www.optim.co.jp/>  
OPTiM SAGA: 佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル  
(佐賀本店)  
OPTiM TOKYO: 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 18 階  
(東京本社)  
OPTiM KOBE: 兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階  
代表者: 菅谷 俊二  
菅谷 俊二  
主要株主: 東日本電信電話株式会社  
富士フイルムホールディングス株式会社  
設立: 2000 年 6 月  
資本金: 445 百万円  
主要取引先: NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社 NTT ドコモ、株式会社大塚商会、  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作  
所、ソフトバンク株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック ソリューショ  
ンテクノロジー株式会社、東日本電信電話株式会社、富士フイルムビジネスイノ  
ベーション株式会社、リコージャパン株式会社など(五十音順)  
ライセンス販売・保守サポートサービス(オプティマル)事業  
事業内容: (IoT プラットフォームサービス、リモートマネジメントサービス、サポートサービ  
ス、その他サービス)

## 【Copyright・商標】

※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

### 【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム 広報担当

TEL: 050-1746-3938 FAX: 03-6435-8560

E-Mail : [press@optim.co.jp](mailto:press@optim.co.jp)

Optimal Biz サービスページ : <https://www.optimalbiz.jp/>